

2008年4月28日

南アフリカ共和国 大使 殿

特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会 (JWCS)

事務局長 坂元 雅行

財団法人 緑の地球防衛基金 (DGEF)

事務局長 渋川 文隆

申 入 書

貴政府が、国内のゾウが増えすぎたとし5月1日から個体数調整を行う計画を発表された件について、野生生物の保全活動を行っているNGOとして意見を申し上げます。

意見の趣旨

今回のアフリカゾウの個体数調整計画に反対します。

意見の理由

間引き個体から収穫した象牙を、国際取引するために在庫として備蓄することには問題があります。

象牙の合法的な国際取引が拡大すれば、それだけ象牙の国際マーケットが勢いづき、主要消費国での消費を刺激、象牙の違法取引とゾウの密猟が増加することが懸念されます。2005年と2006年の2年間に世界中で捕捉された密輸象牙の量はゾウ約4万頭分に匹敵するとの試算もありますが、このような事態が継続・悪化すればアフリカゾウの保全に致命的な結果にもなりかねません。

違法な象牙取引をこれ以上拡大させないという意味からも、間引きは行うべきではなく、別の方策を講じてほしいと考えます。

以上